



青き楓

島高日より
令和5年1月号
(通巻第202号)
長崎県立島原高等学校
編集：研修広報部

職員室から

「これからの時代」

校長 岩橋 順弘

令和5年が始まった。「一年の計は元旦にあり」というが、一人ひとりが、それぞれの願いや目標を持って、新たな年を迎えたのではないかと思います。皆さんには、今やるべきことに全力を注ぎ、自らが掲げた目標を達成するために日々、努力して欲しいと思う。

これまで昭和、平成、令和と時代は変わってきた。戦前・戦中の激動と混乱を極めた時代、戦後復興と高度経済成長を遂げた時代、バブルが崩壊し日本経済が低迷した時代、IT化とグローバル化が急速に進化した時代など、これまで私たちを取り巻く環境は時代とともに変化してきた。それぞれの時代で社会経済や文化・芸能、生活のスタイルも変化してきたし、人々の価値観も変わってきた。もちろん、時代とともに高校生を取り巻く環境も変わってきたし、その時代に応じて学校の様子や学生生活も異なり、社会から求められる資質や能力も違ってきた。今、君たちは今の時代をどのように考え、どのように感じているだろうか。日本経済は長引くデフレにあえぎ、人口減少や少子高齢化、新型コロナウイルスの感染症の拡大、エネルギー問題や物価高騰など様々な問題を抱えている。学校に通っている高校生にとっては、あまり深く考えることがないかもしれないが、高校や大学を卒業して社会に出てから直面する問題でもある。2018年の内閣府が日本の若者の意識調査を行っている。日本の若者は、諸外国と比べて、自分自身に満足(45.1%)していたり、自分に長所があると感じていたりする者(62.3%)の割合が低い。また、政治への関心がある人(44.5%)や自国の社会に満足している人(38.8%)の割合も欧米諸国に比べて最も低くなっている。国際的視野に関しては、異文化理解力・対応力を身につけている(29.4%)や将来留学したい(13%)と、他の国に比べて大幅に低い割合である。それぞれの国や人によって環境が違うし、いろいろな考え方があると思うが、これから社会に出ていく君たちには、この結果についてしっかり考えて欲しいと思う。

現代は、「VUCAの時代」と言われている。あらゆるものを取り巻く環境が激しく変化し、将来の予測が困難な時代のことを意味する。これからの社会では、どのような力を持った人が求められるのだろうか。また、そのような時代を生き抜いていくためには、高校時代にどのような力を身につけておく必要があるのだろうか。君たちには、自分の目標に向けて地道に勉強や部活動などに取り組み、確かな学力と豊かな人間性を身につけるとともに、自ら課題を発見し、他の人と協働しながら主体的に解決していく力が必要である。そのことが、変化の激しい予測不能な社会に柔軟に対応していくことに繋がっていくのだと思う。そして、これからの時代とともに生活スタイルや環境、価値観など色々な事が変化していくだろう。しかし、どのような時代にあっても、君たちには伝統ある島原高校で学んだ知識や経験を発揮して、社会をリードしていく旗手として活躍して欲しいと願っている。

令和5年が、君たちにとって充実した1年となるよう期待している。

- 1日(水) 生徒自宅学習(～2日)
- 4日(土) 土曜講座(1・3年)
進研マーク実力(2年～5日)
- 9日(木) 考查時間割発表(1・2年)
部活動休止(～20日)
- 11日(土・祝) 土曜講座(3年)
- 15日(水) 生徒朝会
- 16日(木) 学年末考査(1・2年～21日)

2月の主な行事予定

- 18日(土) 土曜講座(3年)
- 22日(水) 採点日(1・2年)
金融リテラシー講座(1年)
- 25日(土) 国公立大学前期試験(3年～26日)
- 27日(月) 大掃除・卒業式会場設営
4校時から授業(1・2年)
- 28日(火) 卒業式予行
4校時まで授業(1・2年)
- 3月1日(水) 卒業証書授与式

大学入学共通テスト

3 学年



75回生が1月14日・15日の2日間に渡って行われた「大学入学共通テスト」に挑戦してきました。試験前日に行われた「出陣式」では吉田PTA会長様・岩橋校長先生の激励の言葉に背中を押していただきました。また出発の際には、1、2年生や教職員の方々に見送っていただき、緊張しながらも勇気をいただいた中で一路長崎大学へと向かいました。今だにコロナウィルス感染症が落ち着かず、検温・消毒・マスク着用の厳戒態勢を取り、2日間の共通テストに臨みました。生徒たちはこれまで自分の進路希望の実現に向けて、暑い日も寒い日も毎日休みなく必死になって努力を続けてきました。不安や苦労も多々あったと思いますが、すべてを飲み込み試験に向かう生徒たちの表情は、とても頼もしく見えました。

共通テストは終わりましたが、まだ受験が終わったわけではありません。これから約1か月間、今度は個別試験に向けて勉強に取り組む日々が続きます。全員がそれぞれの進路希望を実現するために頑張っていますので、最後まで応援よろしくお願いたします。



2 学年より

新年あけましておめでとうございます。昨年中は本校の教育活動に深いご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。さて、いよいよ2023年は生徒たちにとって勝負の年となります。2年生3学期は、3年生0学期とも言われます。3学期はマラソン大会、高校入試、卒業式など、授業が行われる日は他学期と比べて少なく、家庭で学習する時間が多くあります。計画的に学習した者と、そうでない者の差が大きく出てしまう学期であり、2年生3学期の過ごし方が次年度に大きな影響を与えます。「文武両道」を校是とする本校は、二兎を追えと生徒を励まし、基礎を固めさせたいと、次年度しっかりとスタートダッシュができるよう指導していきます。今年も昨年同様、変わらぬご理解とご協力をお願いいたします。



1 学年より

新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いたします。さて、2学期末の学年集会で2022年の反省として①容儀検査の不合格者を0にできなかったこと、②学習(特に考查前)の質問が増えなかったことを挙げました。2つの項目ともに「事前準備」の不足が要因であり、早い時期から準備することの必要性を伝えました。これはもちろん、進学へ向けた受験勉強を今から始めることや部活動の試合に向けた練習も同様です。また、3学期始業式の学年集会では、生徒の今年の目標を周囲の人に紹介させました。「有言実行」です。口に出して言った目標を必ず達成するため、積極的に活動することを期待しています。昨年末の三者面談で保護者の方へお渡しし、お子様へアドバイスを書いていただいた「2学期の振り返りシート」を拝見いたしました。いずれの保護者の方もお子様への確かなアドバイスと共に激励の言葉が添えられていました。お子様の今年の目標が達成し進路実現ができるよう、今後ともご協力お願いたします。